

キッズ・モニター＋ 第3回アンケート結果

テーマ「障がいと手話について」

担当課：子ども・福祉部 障がい福祉課





① みんなに聞いたこと・回答の活用方法

三重県では、障がいのある人もない人もいっしょに暮らせる社会をめざして、今年度新しく「みえ障がい者共生社会づくりプラン」を作ります。また、「三重県手話言語条例」を定めて、だれもが「手話」に親しみ、「手話」が広く使われる社会になることをめざしています。

このアンケートでは、「障がい」「障がいのある人」「手話」について、みなさんの考えなどを聞きました。より良いプランを作るため、みなさんの声を活用していきたいと思っています。

② アンケート配信期間

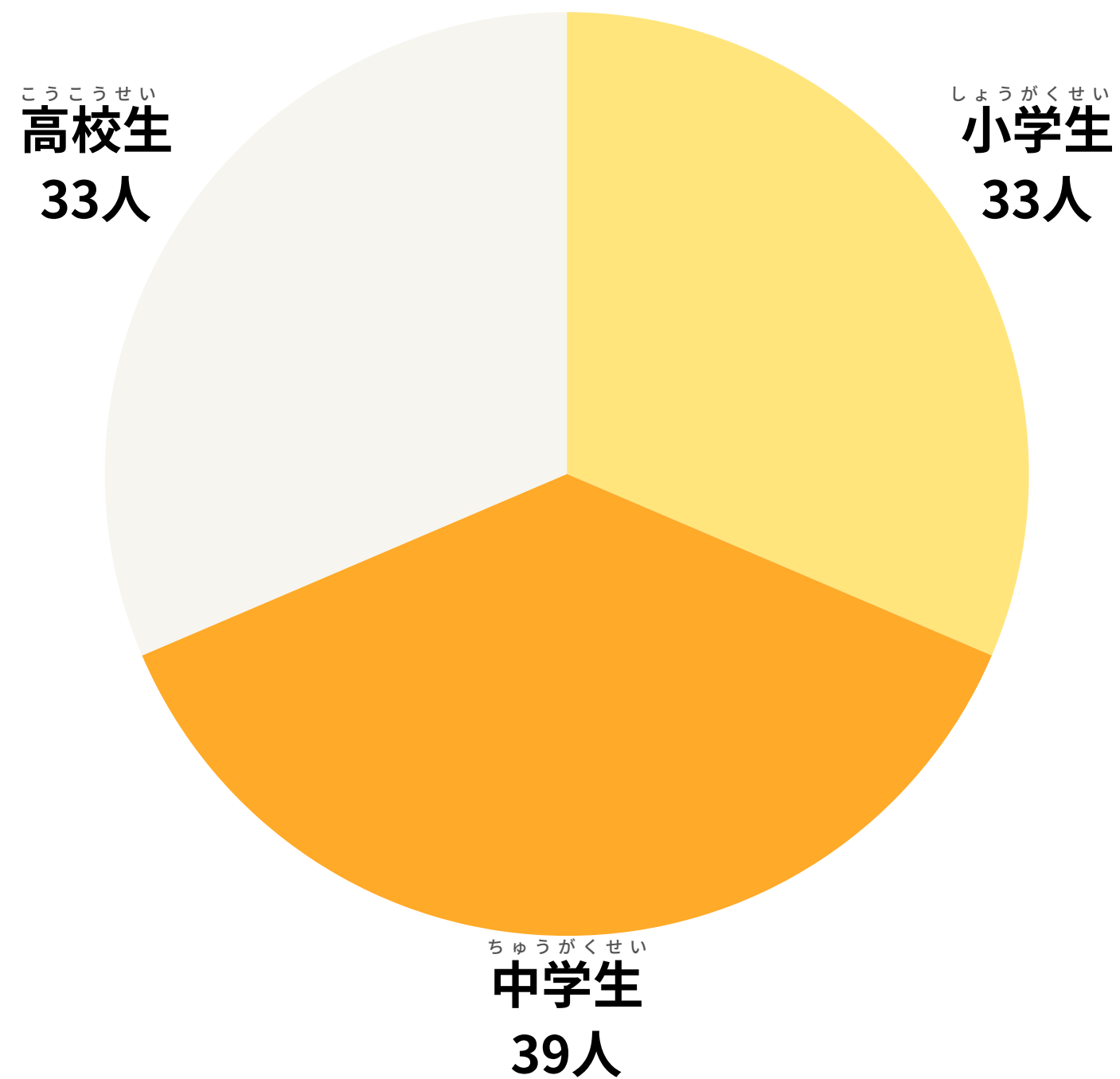
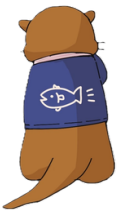
令和8年7月31日（金）～令和8年8月14日（金）

③ 回答者数・回答率

20.4%（回答者数105人／全モニター数515人）



かいとう
回答してくれたみなさんの年代

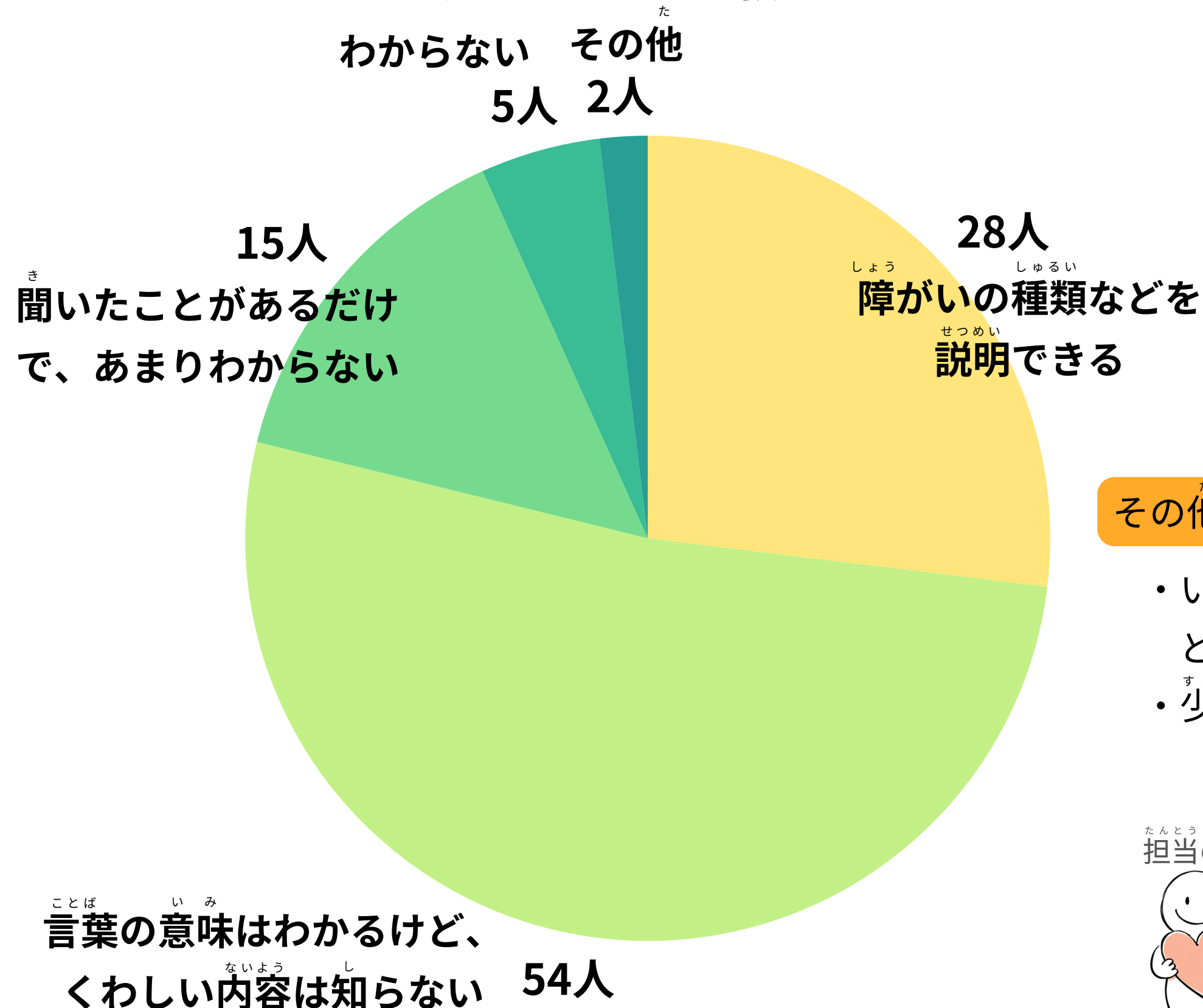


年代	対象者	回答者	回答率
小学生	90人	33人	36.7%
中学生	176人	39人	22.2%
高校生	249人	33人	13.3%
合計	515人	105人	20.4%

① 障がいについて



障がいについてどれくらい知っているか、教えてもらいました。



その他と答えてくれた子どもの意見

- ・ いろいろな種類の障がいがあるのは知っているけど、どのような内容かは説明できない。
- ・ 少し知っているが、説明できるほどではない。

担当のMさん

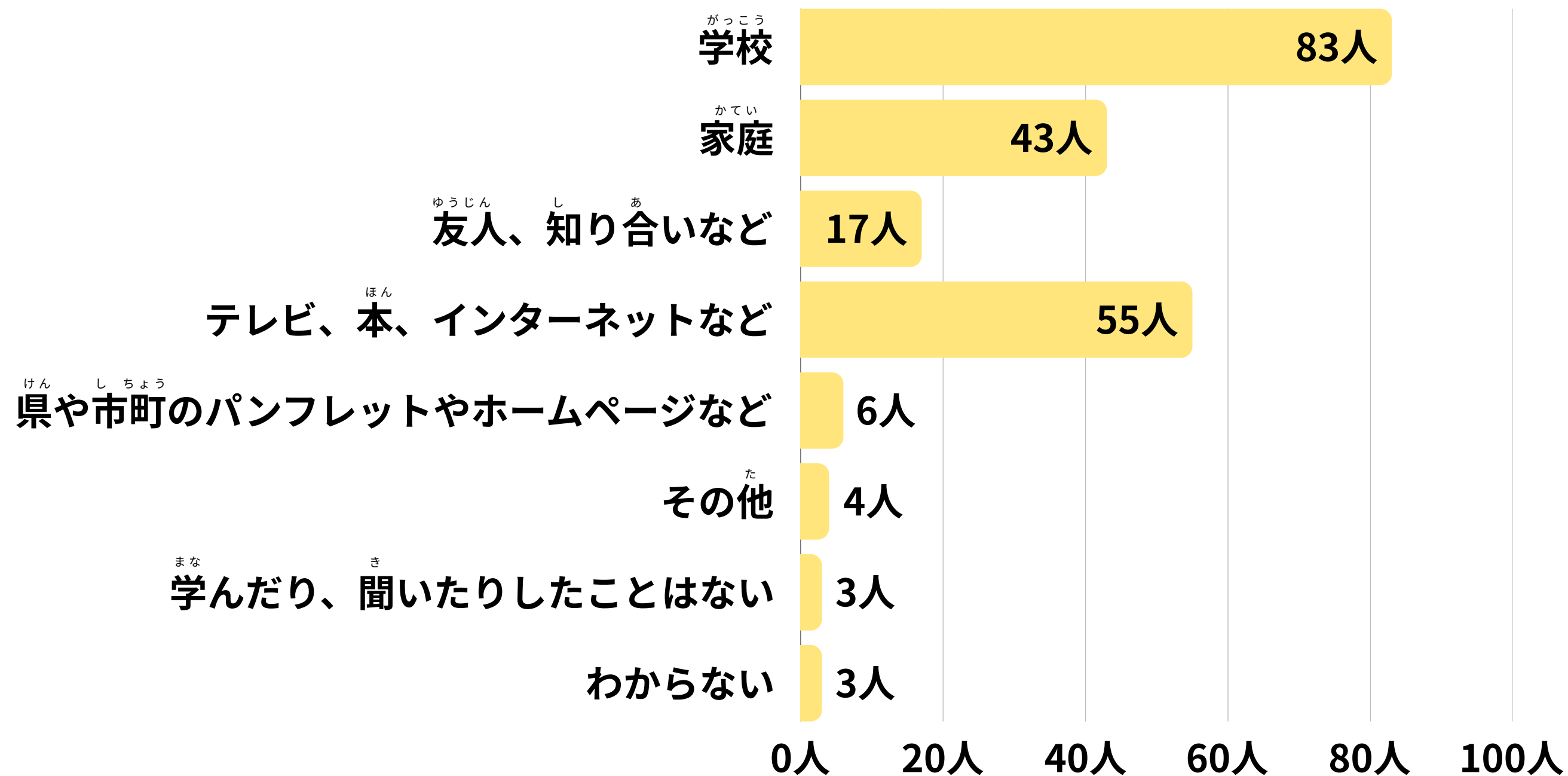


合計82人が「障がいの種類などを説明できる」「言葉の意味はわかる」と答えました。

②障がいのことを知る機会について



障がいや障がいのある人のことを、どこで学んだり聞いたりしているか、選んで教えてもらいました。【複数回答】



その他と答えてくれた子どもの意見

- 手話教室
- 講座
- 点字教室
- 辞書

担当のMさん

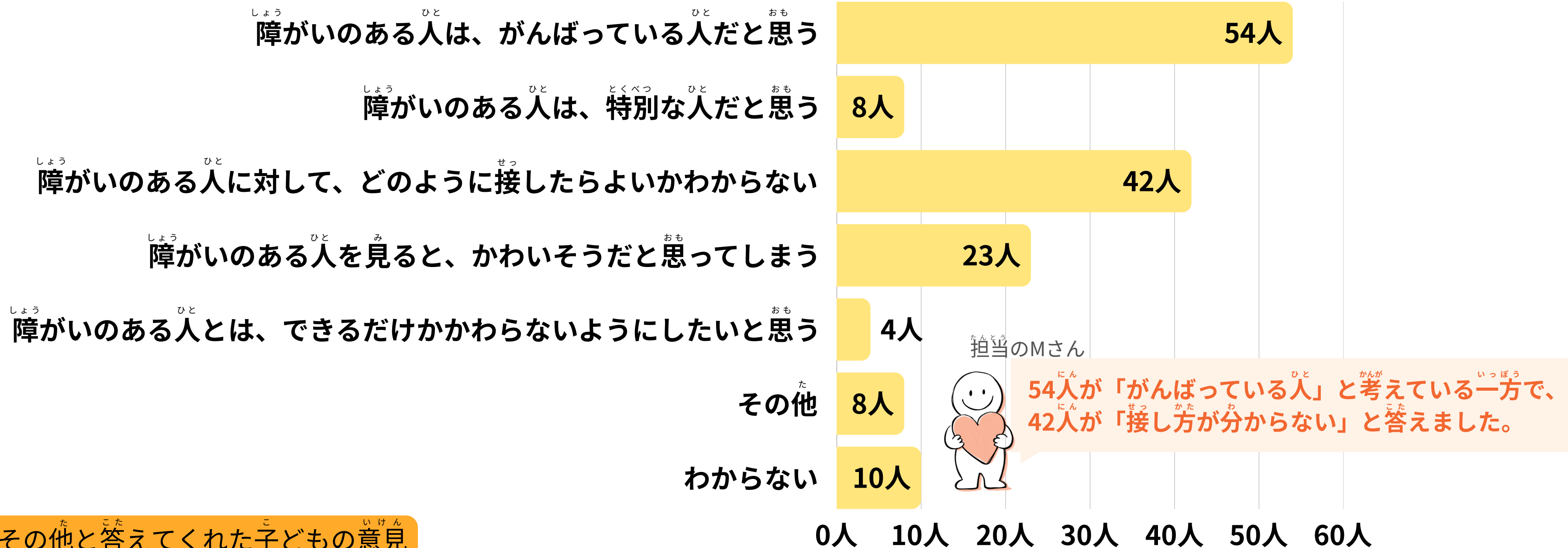


「学校」「テレビや本、インターネット」などで障がいについて学んでいる子どもが多いようです。

③障がいのある人に対する考え方について



障がいのある人のことを、次のように考えたことはあるか、選んで教えてもらいました。【複数回答】



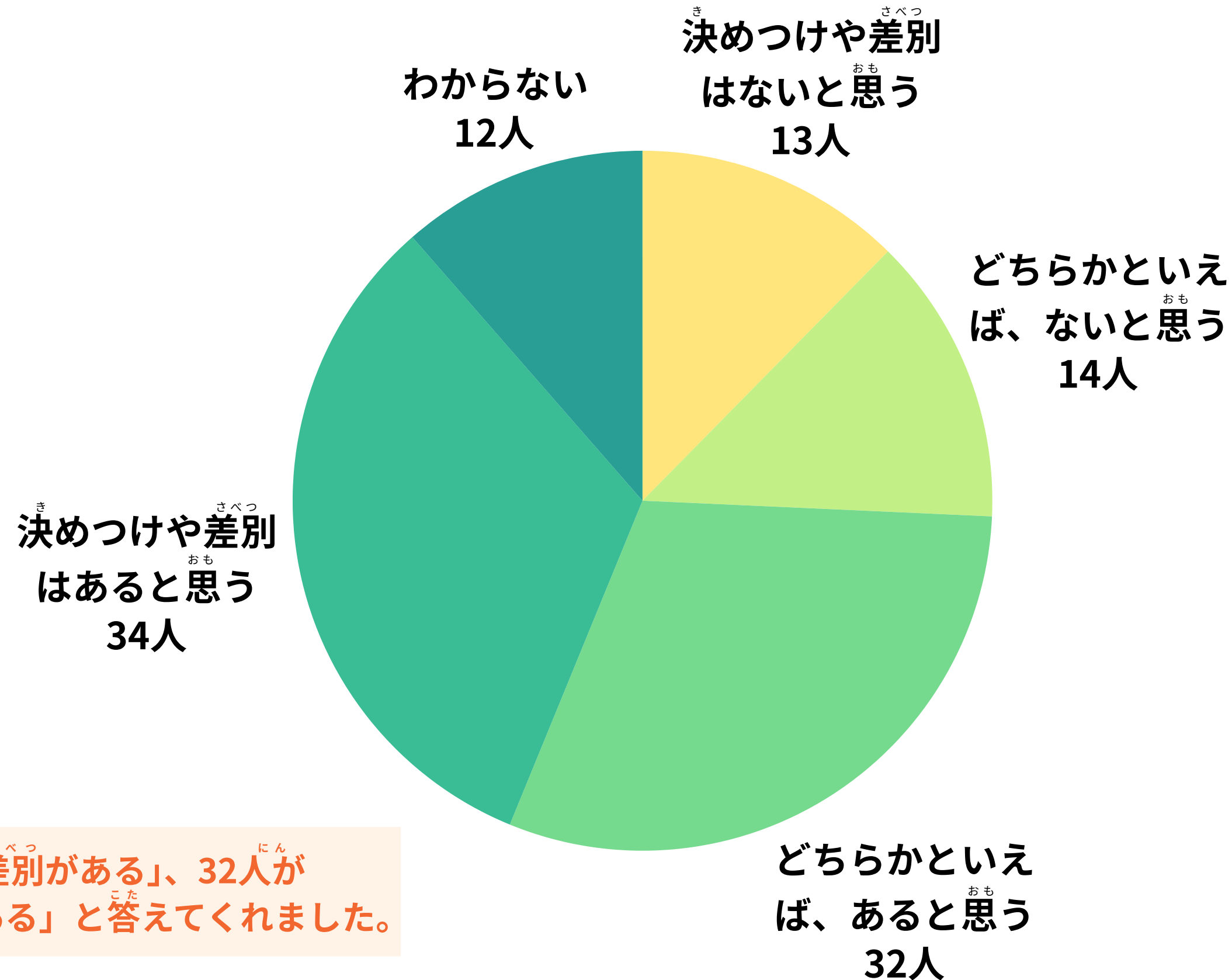
その他と答えてくれた子どもの意見

- いっしょに過ごす友達
- 違いを改まって考えたことがない
- 特別分けて考えない
- 差別をしないようにしたいと思う
- 障がいだけで人を見ないようにしている
- 障がいのあるなしは関係なくその人はその人だと思う
- 障がいがある人に対して、不平等な世界でも生き抜いていて尊敬する
- 障がいのある人を特別とは思ってないけど、自分がいいと思ってやったことが失礼になったり、傷つけたりしてしまうと思うと怖い

④障^{しょう}がいのある人^{ひと}への「決^きめつけ」や「差^さべつ^{べつ}」について



今^{いま}、障^{しょう}がいのある人^{ひと}に対する「決^きめつけ」や「差^さべつ^{べつ}」があると思うか、1つ選^{えら}んでももらいました。



担^{たん}当^{とう}のMさん

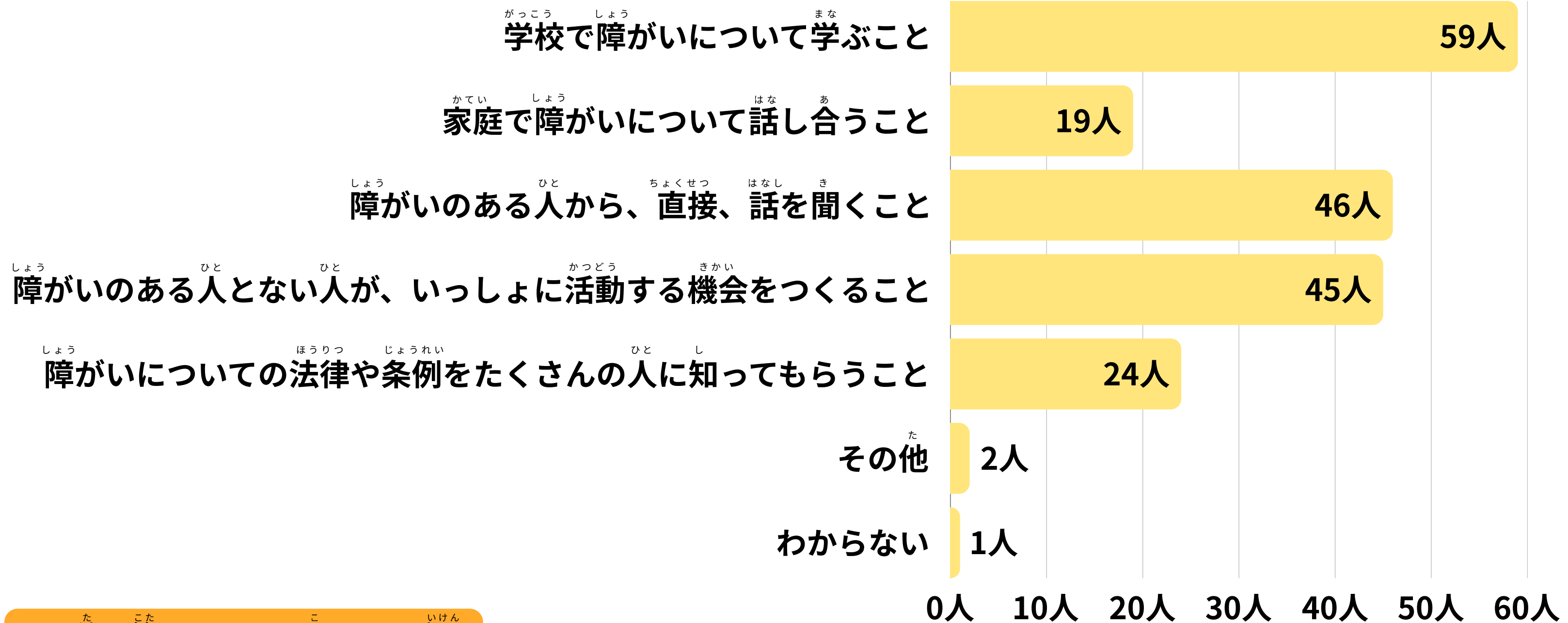


34人^{にん}が「決^きめつけや差^さべつ^{べつ}がある」、32人^{にん}が「どちらかといえ^えばある」と答^{こた}えてくれました。

④-2 障がいのある人への「決めつけ」や「差別」について（2）



「決めつけ」や「差別」をなくすため、どのようなことが大切だと思うか、選んで教えてもらいました。【複数回答】



その他と答えてくれた子どもの意見

- 子どもの周りにはいる大人がお手本になるような接し方をすること
- 障がいのある人と同じ生活を一日体験できるようにする

担当のMさん



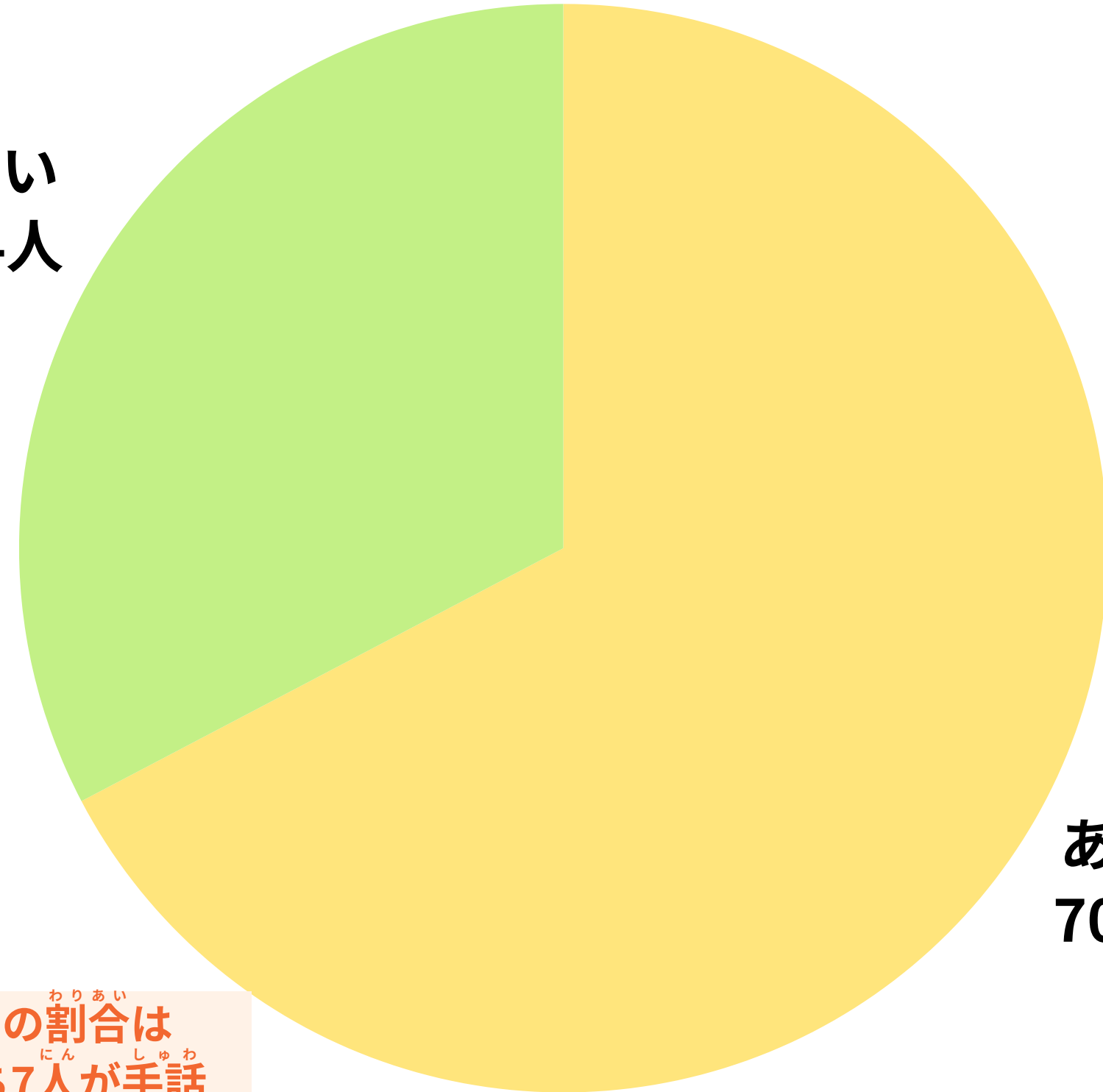
学校で学ぶこと、直接話を聞くことが大切と答えてくれた子どもが多かったです。

⑤^{しゅわ}手話にふれたことについて



これまでに^{しゅわ}手話にふれたことがあるかどうか、^{おし}教えてもらいました。

ない
34人



ある
70人

担当のKさん

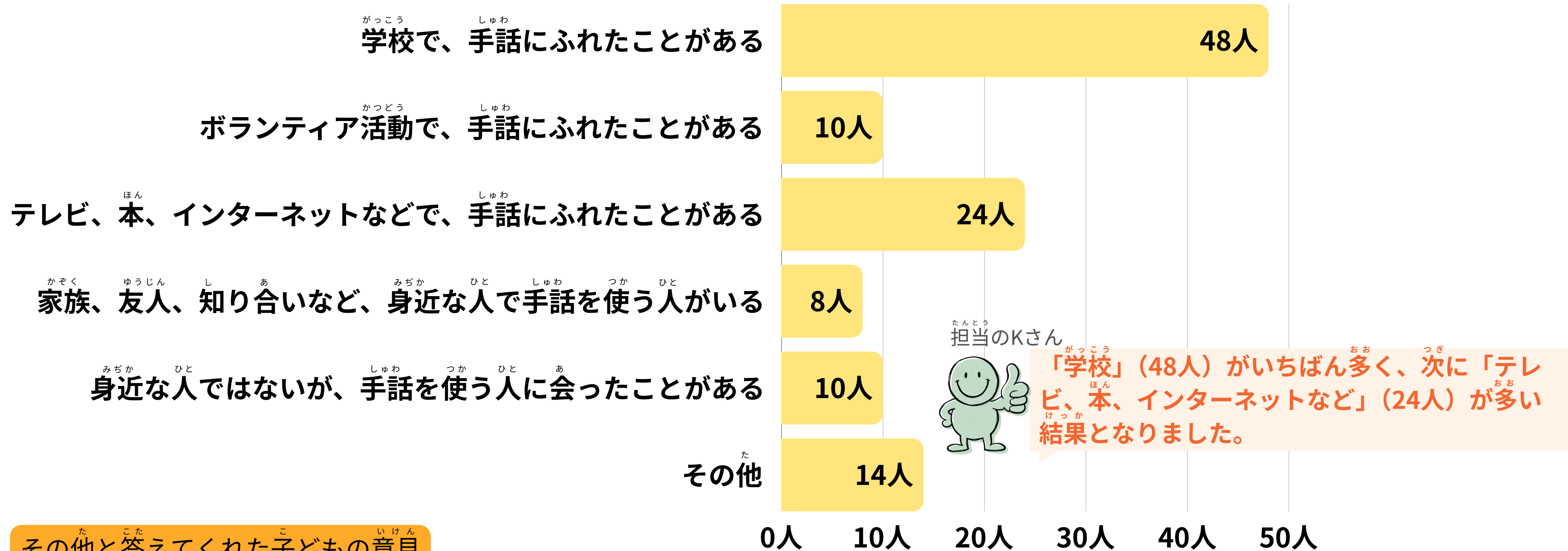


^{しゅわ}手話にふれたことが「ある」^こ子どもの割合は
67.3%となり、おおよそ10人^{にん}のうち7人^{にん}が^{しゅわ}手話
にふれたことがわかりました。

⑤-2 手話にふれたことについて（2）



どのような^{ばめん}場面で^{しゅわ}手話にふれたことがあるか、^{えら}選んで^{おし}教えてもらいました。【複数回答】



その他と答えてくれた子どもの意見

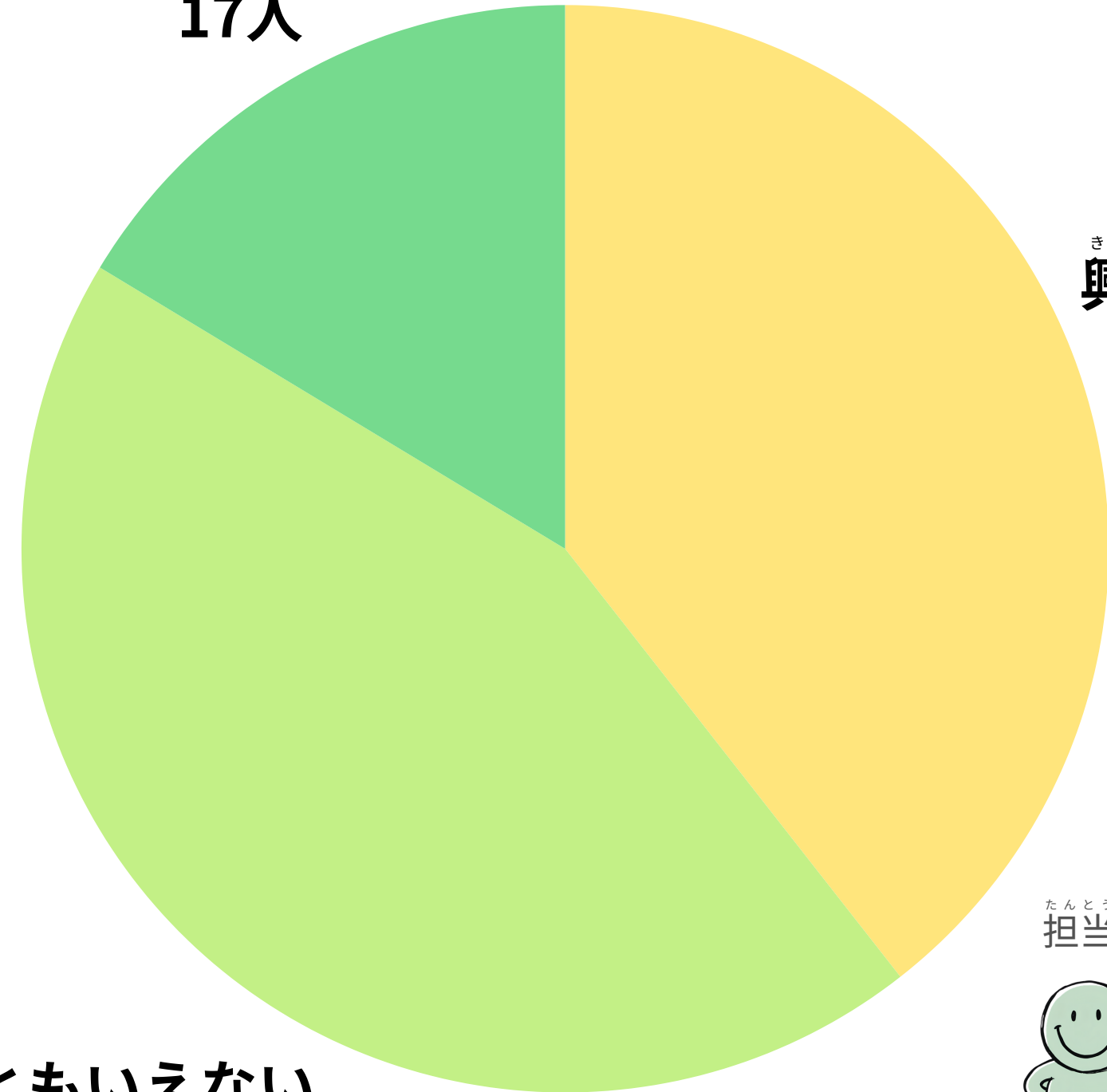
- ・ イベントでふれた、習った（3人）
- ・ 手話教室や講座に通っている、通ったことがある（4人）
- ・ 学童保育でふれたことがある
- ・ 保育園で教わった。いまだに覚えています。
- ・ 辞書
- ・ 自由帳の表紙
- ・ 友人の発表として、いくつかの手話を見たことがある
- ・ 親が習いに行っていた
- ・ 母がイベントで手話をしていた

⑥^{しゅわ}手話への^{きょうみ}興味について



^{しゅわ}手話に^{きょうみ}興味があるかどうか、^{おし}教えてもらいました。

^{きょうみ}興味がない
17人



^{きょうみ}興味がある
41人

どちらともいえない
46人

^{たんとく}担当のKさん

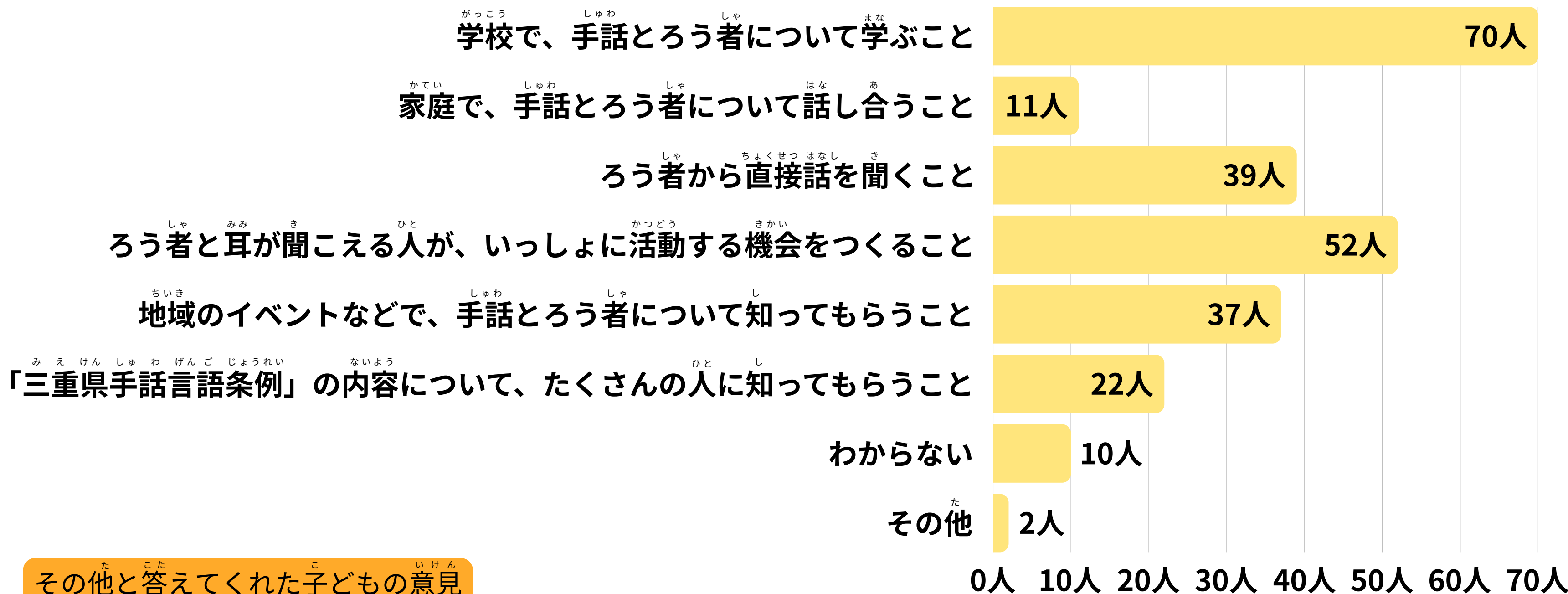


やく約39%が「^{しゅわ}手話に^{きょうみ}興味がある」と^{かいとう}回答しているものの、「^{かいとう}どちらともいえない」という^{かいとう}回答も^{おお}多い^{けっか}結果となりました。

⑦^{しゅわ}手話^{つか}が使われるために^{ひつよう}必要なことについて



^{しゅわ}手話がたくさんの人^{ひと}に使われる^{つか}三重県^{みえけん}になるために、どのようなことが必要^{ひつよう}だと思うかを教えてもらいました。【複数^{ふくすうかいとう}回答】



その他^たと答^{こた}えてくれた子ども^この意^い見^{けん}

- ・ ろうの人^{ひと}だけの野球^{やきゅう}チー^きムがあると聞^きいたことがあります。
- ・ いっしょに野球^{やきゅう}して、試^し合^{あい}してみたいです。
- ・ 小学^{しょうがっこう}校^{がっこう}からでは遅^{おそ}い。何^{なに}の偏^{へん}見^{けん}もな^ない、保^ほ育^{いく}園^{えん}、幼^{よう}稚^ち園^{えん}でふれるべき。

担当^{たんとう}のKさん



お^お多^こくの子ども^こが「学^{がっこう}校^{がっこう}で、手話^{しゅわ}とろう者^{しゃ}について学^{まな}ぶこと」が必^{ひつよう}要^{かんが}と考^{かんが}えていることがわ^わかりま^ました。

アンケートに^{こた}答えてくれたみなさんへ

たくさんの^{かいとう}回答をいただきありがとうございました。
みなさんの^{いけん}意見を^{さんこう}参考にして、
「^{しょう}障がい」や「^{しゅわ}手話」についてもっと知ってもらい、
^{かんしん}関心を持ってもらうための^{とりくみ}取組を進めていきます！

(テーマ担当：^{たんとう}障がい^{しょう}福祉^{ふくしか}課より)



みんなの^{いけん}意見がどのように^{かつよう}活用されたのかを^{しょうかい}紹介する
「フィードバック^{しりょう}資料」は、
^{れいわ}令和9年^{ねん}3月^{がつ}に^{みえけん}三重県ホームページに^{こうかい}公開するとともに、
キッズ・モニター+のみなさんへメールでお^{おく}送りします。





アンケートにご協力いただき
ありがとうございました！

テーマ担当：障がい福祉課
結果集計：少子化対策課 キッズ・モニター＋係